

特許出願公告及特許抜萃

特許出願公告抜萃

抗張試験用剪断試験片器具 (10年特許公告第3793號, 公告10-9-9, 滋賀縣, 近江帆布株式會社) 之を抗張試験機に取付けて之れとの協働作用に依り帆布等の強度就中剪断抗力を簡易に試験せんとする目的を以て, 供試片を把持すべき2組の把持器の内一方の把持器を導面上に之れに沿ひて自由に摺動し得べく支持し他方の把持器を支架上に一端を基點として自由に廻動し得べく支持して前者を抗張試験機の上方向把持部に後者を同下方把持部に夫々連接すべくしたる抗張試験機用剪断試験片器具。

青銅軸承鑄着法 (10年特許公告第3803號, 公告10-9-9, 東京市, 市川久太郎) 重要回轉部の使用に適する良質にして耐久力の著しく大なる軸承を得んとする目的を以て, 鐵型を外裝せる防酸化劑を混入せる耐火上の鑄型内に裝置せる裏裝鋼の酸化を防止しつつ, 溶解點近くに加熱せる該裏裝鋼の周壁を包圍する如く熔融青銅を型の底部より注入し且適當の壓力を加へつつ冷却して該裏裝鋼に鑄着せしむる青銅軸承鑄着法。

鐵粉より鐵塊の製造法 (10年特許公告第3815號, 公告10-9-9, 金澤市, 釜谷常治) 價値なき廢棄物を利用し經濟的に良質の鐵塊を多量に得んとする目的を以て, 鐵粉を石灰窒素殘渣と混じり壓搾固結せしめたるものをキューボラの如き溶解爐中にて加熱塊熔融せしむる事を特徴とする鐵粉より鐵塊を製造する方法。

鐵又は鐵合金の防蝕處理方法 (10年特許公告第3822號, 公告10-9-11, 仙臺市, 金屬材料研究所長) 防蝕力大なる各種色彩を呈する皮膜を形成せしむるを以て鐵及其合金の耐久力を増大せしむると共に美術的着色防蝕皮膜とし或は塗料は下地とする事により塗料の密着性を甚だ良好ならしめんとする目的を以て, 亜セレン酸を水1l中に15g飽和する迄溶解せる溶液中に鐵又は鐵合金を浸漬して煮沸する事により表面に亜セレン酸鐵及セレンの混合皮膜を作り更に混合皮膜を緻密にせんが爲め明礬水中にて煮沸するか或は亜セレン酸溶液中に適當量の明礬を混じたる溶液にて目的物を煮沸して亜セレン酸鐵とアルミナの混合皮膜を形成せしむる事を特徴とする鐵又は鐵合金の防蝕處理方法。

電極懸垂支持及安全下降供給裝置 (10年特許公告第3845號, 公告10-9-11, 東京市, 昭和肥料株式會社) 爐の操業を停止することなく電極の消耗を安全自動的に補給し作業能率を著しく向上せしむる裝置を得る目的を以て, 電極を包圍して複数の電極支持端子を配設し該電極支持端子を二群に分割し各群を交互に上下せしむる事に依り電極の消耗を自動的に補給する事を特徴とする電極懸垂支持及安全下降供給裝置。

金屬管壓出方法 (10年特許公告第3859號, 公告10-9-13, 獨逸國, ドクトル, フリツク, ジンゲル) 金屬管の壓出を經濟的ならしめんとする目的を以て, 高き壓出溫度を要する金屬の溫熱ピレットより繼目なき管を製造する方法に於て溫熱ピレットを一端に有孔ダイを有するコンテナー内に收容し中空マンドレルをピレットを通過してダイの孔内に挿入し中空マンドレルの内部に冷却媒體を供給し壓出用唧子を毎秒3吋以上の平均速度にて運動せしめてピレットに壓力を加へピレットをして上記平均速度を以てダイより壓出せしめ且ピレットより冷却マンドレルへの熱の著しき損失を防止せしむる事を特徴とする金屬管壓出方法。

Sb製品鑄造用鑄型 (10年特許公告第3862號, 公告10-9-13, 東京市, 荒井常八郎) 熔融Sbの流配を良くし鑄疵を出現せしめず而

も複雑なる模様を鮮明に現出し得せしめんとする目的を以て表型をAlにて製し裏型を鍛鐵にて製したるSb製品鑄造用鑄型。

銲接機 (10年特許公告第3888號, 公告10-9-16, 東京市, 株式會社芝浦製作所) 其の接目が直接部分と彎曲部分との交互連續した線をなせる物體に對して恰も接目の全線が此等部分の長さの和に等しき長さの直線なるが如くに銲接を行ふべき改良銲接機を提供する目的を以て, 彎曲部に連結せられたる直線部分より成る接目と銲接部と該銲接部をして豫定進行路上に運動せしむる裝置と接目の各直線部分を銲接部の進行路上に保持すべき位置に動き得る保持部と前記銲接部の運動に應じて該保持部の位置を變じて上記直線部分の引續きとして接目の彎曲部分をして銲接部の進行路上に來らしむる裝置とを備ふる銲接機。

金屬或は其の化合物の微粒子製造方法 (10年特許公告第3924號, 公告10-9-18, 京都市, 鳥養利三郎) 比較的簡單なる方法に依りて純粹にして且極微細なる金屬或は其の化合物の製造能率を高めんとする目的を以て, 生成微粒子と化合せざる又は化合せしむべき適當なる瓦斯を生成微粒子が壁面に塗着せざる程度以上の瓦斯壓力を有する容器内に於て所要金屬を電極として直流又は交流を以て放電を行ひ金屬又は金屬化合物の微粒子を製造する際該容器内に高周波磁場を加ふる事を特徴とする金屬或は金屬化合物の微粒子製造方法。

珪瑯フリット製造方法 (10年特許公告第3956號, 公告10-9-20, 臺灣, 森正一) フリット中に游離珪酸分を出來得る限り少からしめ游離珪酸に起因する珪瑯の龜裂剝脫等其他物理的性質を改善し従つて珪酸成分多量なる耐酸珪瑯等を容易に製造せんとする目的を以て, 珪瑯フリットの原料中主として游離珪酸分よりなる原料をアルカリ土類及硼素等の化合物と共に熔融冷却する工程と前記工程により得たるフリットに他の原料を混じて熔融水上げする工程とよりなる珪瑯フリット製造方法。

マグネシア煉瓦製造法 (10年特許公告第3960號, 公告10-9-20, 八幡市, 下井勇) Ilmenite $TiFeO_3$, Titanite $CaTiO_3$, Forsterite $2MgOSiO_2$, Magnesioferrite $MgO \cdot Fe_2O_3$ 等の如き complex compounds matrix を以て完全に Periclase Crystal MgO を包ましめて非常に強固なる一體となし熱の急變に龜裂剝落する事を防ぎ合せて製品貯藏中及使用中に於けるフケを防ぎ尚強鹽基性にして耐火度高く熱間耐壓力強大なる特質を有せしめたる MgO 煉瓦を安價に得んとする目的を以て MgO クリンカーに酸化 Ti を含有せる鹽基性平爐鋼滓及砂鐵を添加配合し結合劑の存在に於て成形乾燥し, $1,380^\circ C$ 程度にて燒成することより成る MgO 煉瓦製造法。

アルミナマグネシヤより成る耐火性絶緣物製造法 (10年特許公告第3962號, 公告10-9-20, 東京市, 逓信大臣) 全體の結晶質よりなり其の質甚だ緻密なる耐火度高き絶緣物を容易に製造する目的を以て $0.5 \sim 3.5\%$ 或は $29 \sim 32\%$ の MgO と Al_2O_3 を混合したる後成形し共融點以下の溫度にて燒成するを特徴とする耐火性絶緣物製造方法。

線金屈曲成型方法 (10年特許公告第3975號, 公告10-9-20, 明石市, 森澤允雄) 型を用ひ連續的に製出し大量生産に適する簡易なる方法を得る目的を以て, 直線より漸進的に所要形状に屈曲せる間隙を形成せる雌雄兩型内に適當に切斷せる直線狀線金を挿入し順次線金を追補しつつ強制的に押進せしめ線金を所要形状に屈曲せしむる事を特徴とする線金屈曲成型方法。

高品位色の金合金 (10年特許公告第3999號, 公告10-9-23 東京市, 峰雄次郎) 著しく化學的並に物理的性質を改良し彼の在來の普通の低品位合金に見るが如き汗若くは硫化水素に依る變色を防止し且熱處理に依る硬化率を増大せしめ而も高品位合金に等しき高尚なる色澤を有する金合金を得る目的を以て100分中 Au 30~50 Ag 5~40 Cu 16~48 Zn 2~7 Pd 0.2~5 を含有する高品位色の金合金。

鋼鐵類着色法 (10年特許公告第4002號, 公告10-9-23, 東京市, 川上壽) 鋼鐵類の表面に四三酸化鐵の黑色皮膜を簡単に生ぜしむる目的を以て, 鹽酸, アンチモン, 硝酸, 温水, 過鹽化鐵を混和し之を鋼鐵類の表面に塗着し乾燥後沸騰湯中して表面に四三酸化鐵の黑色皮膜を呈せしむる鋼鐵類着色法。

連續鑄造裝置 (10年特許公告第4003號, 公告10-9-23, 兵庫縣, 米北鹿八) 一の循環する鑄砂によりて鑄造作業を迅速に行はしめ作業能率を増進せしめんとする目的を以て, 馬蹄形と成したる臺枠に依りて轉軸を支持せしめたる遞送臺の一側に下方を作業臺と成したる梁構を設け該梁構上には樋を置き該樋内に來る鑄砂を一方より他方に移動せしむる無端調帶を設け前記樋の底に開閉弁を設け該弁を有する部分には放砂口を有する漏斗を置き前記遞送臺の中央部に當る側方個所に熔解爐を置き遞送臺の他端に接近して鑄砂と鑄造物とを撰別する撰別機より落下する鑄砂を定量器を経て篩器に入らしめ該篩器を通したる鑄砂に水を加へて混合器内に入れ次に之を回轉粉砕器を通じて前記梁構上の無端調帶上にエレベーターを以て運搬すべく成したる連續鑄造裝置。

金屬マグネシウムの製造方法 (10年特許公告第4018號, 公告10-9-23, 朝鮮, 日本マグネシウム金屬株式會社) 大氣壓又はそれ以上の高き壓力の下にて蒸溜を行ふ事に依り Mg 化合物より最も有効にして且簡單なる方法により一層純なる金屬 Mg を電熱的に回收すべくなさんとする目的を以て, 炭素を以て Mg 化合物を還元せしめて生成せる金屬蒸氣を凝縮せしめて得たる Mg 粉末を不活性又は還元性の瓦斯の存在の下にて大氣壓又は夫れより高き壓力に於て其 Mg 含有分を再蒸發せしめ然る後凝縮せしむる事に依り緊密なる金屬に轉化せしむる事の特徴とする金屬 Mg の製造方法。

モーターレンチ下顎製造法 (10年特許公告第4039號, 公告10-9-25, 大阪市, 株式會社恩加島鐵工所) 多數齊一なるモーターレンチに於て有齒主體に沿ひ摺動する可動下顎を迅速に製作せんとする目的を以て, 所要の形狀の下顎の背部に圓筒狀の肉を附加してなる材片を之に相應すべき型に依りドロップフオージ又はスタンプフオージを以て形成せしむる工程と圓筒狀の肉に透孔を穿ちて該圓筒部を管狀となし赤熱打錠して管狀部を扁平中空狀となす工程と該中空部に所要のレンチ主體の指導部に相應すべき斷面の芯桿を挿入し之を型中に收めてドロップフオージ又はスタンプフオージに依り所要の下顎を形成せしむる工程とより成ることを特徴とするモーターレンチ下顎製造法。

自働折疊裝置を構へたる薄鋼板壓延裝置 (10年特許公告第4041號, 公告10-9-25, 西宮市, 天野成男) 薄鋼板壓延作業の往送の終りに於て自動的に而も容易迅速且正確に薄鋼板を折疊しめて作業の能率を増進せしめんとする目的を以て, 薄鋼板壓延裝置に於ける壓延ロールに併列せしめて送込ロールを備へ尙此送込ロールに接近せしめて折曲用ガイドを設けたる自働折疊裝置を備へたる薄鋼板壓延裝置。

亞鉛鑛金工業に於て産出するザルミヤツクより鹽化亞鉛

を製造する方法 (10年特許公告第4051號, 公告10-9-25, 千葉縣, 岡江義) ザルミヤツクを原料に供し鹽化亞鉛を製造するに當り公知の方法にては容易に除去し得ざる夾雜物の鹽化物を容易に除去して優良なる鹽化亞鉛を廉値に製造せんとする目的を以て, ザルミヤツクを漸次鹽化亞鉛の揮發過度以上に焙燒して揮發する酸性瓦斯に含有する夾雜物を酸化し除去精製する事の特徴とする鹽化亞鉛の製造方法。

ニツケル電解液より鐵及砒素の分離法 (10年特許公告第4061號, 公告10-9-27, 東京市, 正木康作他二名) Fe 及 As を容易且經濟的に硫酸 Ni 溶液より分離除去せんとする目的を以て, Fe 及 As を含有する硫酸 Ni 溶液に之を中和する程度に CaO を加へ該溶液中に空氣を吹き込む事に依り酸化鐵に砒素を吸着せしむる事の特徴とする Ni 電解液より Fe 及 As の分離法。

Al 又は其合金鐵若くは鐵合金との接着方法 (10年特許公告第4074號, 公告10-9-27, 東京市, 日本金屬工業株式會社) Al 又は其合金を鐵, 鋼, 特殊鋼及其他の鐵合金類に容易簡單に而も堅固に接着し得しむると共に前者の接着部に硬度高き Al の炭化物層を形成し輕量にして内部硬度高く而も鐵鋼等の強度と相俟つて強靱性に富む重合板を得んとする目的を以て Al 又は其の合金と之を接着せんとする鐵若くは其合金とを接觸せしめ前者の接觸部又は全部を熔融し活性状態に在る炭素を觸れしめて Al 又は其合金の接觸部に炭化 Al を生成し次で之れが分解せざる様冷却することを特徴とする Al 又は其合金と鐵若くは鐵合金との接着方法。

Mg を多量に含有する Ni 鑛石より Ni 電解液を製造する方法 (10年特許公告第4090號, 公告10-9-27, 東京市, 正木康作) Mg を20%以上も含む Ni 鑛石より簡單に純 Ni 電解液を製造せんとする目的を以て Mg を多量に含有する Ni 鑛石を硫酸にて抽出し之を煮詰めて各原鑛成分の硫酸鹽の複鹽の粗結晶を作る工程と該粗結晶を約 $900^{\circ}C \sim 1,000^{\circ}C$ に加熱して硫酸 Mg 以外の金屬硫酸鹽を酸化物とし硫酸 Mg を水にて抽出する工程と該酸化物を硫酸にて抽出し各酸化金屬の硫酸鹽を作る工程と石灰を加へて加熱し鐵を酸化鐵として除去する工程と硫化水素を通して銅分を硫化銅と爲して除去し純硫酸 Ni 溶液を得る工程との結合を特徴とする Mg を多量に含有する Ni 鑛石より Ni 電解液を製造する方法。

燄炭爐に於ける瓦斯分配支管の配置及連絡に関する裝置 (10年特許公告第4091號, 公告10-9-27, 八幡市, 相良春一) 瓦斯道の切替へ操作及活栓の構造を著しく簡單ならしむる目的を以て交互に切替ふべき二條の瓦斯道を有する蓄熱式燄炭爐に於て切替活栓を爐室の中心線上に配置し其の左右の分岐管を左右別の燃燒室に導き左右別々の燃燒室に於ける瓦斯道に連絡することを特徴とする燄炭爐に於ける瓦斯分配支管の配置及連絡に関する裝置。

艶出又は型出ロール製造法 (10年特許公告第4108號, 公告10-9-30, 京都市, 上村道輔) 既製の型出及び艶出ロールに簡單なる加工を施して艶又は型を生ぜざる部分を有する模倣面を形成せしめんとする目的を以て, 全面に細線模様を刻せる艶出ロール又は凸凹模様を彫刻せる型出ロールの凹面一部にベークライト又は焼漆を施して之を填充固定せしめロール又は型出ロールの彫刻面の模様を變形せしむることを特徴とする艶出又は型出ロール製造法。

硬質輕合金 (10年特許公告第4110號, 公告10-9-30, 東京市, 株式會社那須アルミニウム製造所) 摩擦に對して抗力大なる輕合金を得んとする目的を以て, Si -8~25%, Cu -1.5~6%, Mn -0.35~7%, Cr -0.1~1.5%, Mg -0.1~5%, Fe -0.5~2.5%, Ni -1~3%

Ti-0.01~0.5%, Al-殘部を含有する硬質輕合金。

磁性材の處理法 (10年特許公告第4111號, 公告10-9-30, 獨逸國, アルゲマイネ, エレクトリチテーツ, ゲゼルシャフト) ヒステリシス小にして磁氣的安定度大なる磁性材を得んとする目的を以て, 磁性材が最後の赤熱前豫冷伸延せられ該赤熱後本冷伸延せられ該豫冷伸延は本冷伸延と關聯して磁氣約性能を改善せしむる様選ばるゝことを特徴とする磁性材處理法。

マグネシアを成分とする塗裝材料 (10年特許公告第4120號, 公告10-9-30, 東京市, 尾崎重美) 着色自由にして弾性に富み且特別な艶出操作を施すこと無くして滑澤なる表面を形成せしめ得べき強力なる耐水性塗料又は人造石原料を廉價に提供せんとする目的を以てマグネシア及び野毛(麥の穂先)粉末を主要素料とし之に珪酸白土, 珪藻土, 珪石粉末, 火山灰, 鋸屑粉末, 石綿, 炭酸カルシウム等を適當に配合したるものを弗化アムモン及び鹽化苦土の混合溶液にて混捏するか又は鹽化苦土溶液にて混捏したる後弗化アムモン溶液にて處理することを特徴とするマグネシアを主成分とする塗裝材料。

石油ピッチ, アスファルト類より揮發分少き優秀なる固定炭素を得る方法 (10年特許公告第4126號, 公告10-9-30, 東京市, 小倉石油株式會社) 高温を持續せるレトルト内に石油ピッチ等を微粒子となして噴射する事に依り石油ピッチ, アスファルト類をレトルトを使用して高温の下に處理し得せしめて揮發性分を完全に除去し且灰分少き優秀なる固定炭素を連續的且迅速に得せしめんとする目的を以て, 石油ピッチ, アスファルト類を液狀に於て高温を保持せられ在るレトルト内に壓力を以て粉霧狀に噴射破壊乾燥を行ひて固定炭素を得る事を特徴とする石油ピッチ又はアスファルト類より揮發分少き優秀なる固定炭素を得る方法。

輕金屬或は其合金上へ他金屬を鍍着する方法 (10年特許公告第4131號, 公告10-10-2, 大阪府, 藤井毅太郎) 從來の輕金屬或は其合金上に他金屬を鍍着したるものが輕金屬或は其合金と該金屬間の局部電流の爲返つて浸蝕せられ易き缺點を除去し耐蝕性強き安定なる鍍着製品を得んとする目的を以て, 輕金屬或は其合金に他金屬を鍍着するにあたり殊更に輕金屬上に豫め電氣の不良導體を形成せしめ其の上に他金屬を鍍着し普通鍍金製品と同様の外觀を有し耐蝕性大なる輕金屬或は其の合金への他金屬鍍着製品を得る方法。

金屬板に依る鍍金の被覆方法 (10年特許公告第4133號, 公告10-10-2, 東京市, 松井武雄) 鍍付作業を阻碍する金屬面の酸化を防止し且鍍付後冷却の際起る歪を防止し鍍及波面等の無き優良なる被覆金屬板を提供せんとする目的を以て, 鍍板, 銅板等の如き金屬板と鉛板, 錫板, 又は其の合金板等の如き金屬板を以て被覆するにあたり豫め其表面を清淨ならしめたる心となるへき被加工板を被覆用金屬板よりも低溫度にて熔融する鍍の熔融體浴を通過せしめたる後フラックスの鍍付面に塗布する迄の間を外氣と遮斷したる導樋中を通過せしめフラックスを施したる後被覆金屬板と重合し加熱加壓して一體に鍍付するや鍍の尙柔軟性を失はざる間に速かに冷却ロール下に移し加壓の下に冷却し以て歪を生ずるに違なからしめたることを特徴とする金屬に依る鍍金の被覆方法。

鐵鋼類着色防錆方法 (10年特許公告第4134號, 公告10-10-2, 東京市, 中鉢吾一) 從來公知の防錆層の形成方法の如く塗料下地をなすものに非ずして本方法に依り任意の色調並に堅硬強力なる防錆膜を生ぜしめ耐酸耐アルカリ耐熱ならしめんとする目的を以て鐵鋼類の豫め清淨ならしめたるものを水に可溶性各種磷酸鹽の一種

若くは數種の配合溶液又は之に直接染料の一種若くは數種を適量加へたる温液中にて適當時間處理したる後更に直接染料の一種若くは數種の溶液にて加熱處理することを特徴とする鐵鋼類着色防錆方法

至硬金屬體の内部成形方法 (10年特許公告第4136號, 公告10-10-2, 東京市, 三菱鑛業株式會社) 耐摩耗性機構部分又は工具として必要なる各種の圓形を至硬金屬體に賦與せんとする目的を以て微粉材料を焼成結合して得らるゝ各種の至硬金屬體の加壓賦形素材を製作の工程に於て塑形内に賦形素材より直ちに又は半途焼成處理後容易に離脱し得らるゝ如く設計したる金屬製の中型を裝填し微粉末材料と共に加壓後該中型を素材の完全焼結處理前に素材より離脱することに依り至硬金屬體に任意の内部成形を賦與する方法。

捲回鋼杆の製造方法 (10年特許公告第4156號, 公告10-10-2, 東京市, 岸周之助他2名) 常に目的とする所は常に内縁部に彎曲せしむる特殊なる壓延方法を行ひ捲回して用ふるに適する鋼杆を得んとする目的を以て, 壓延の初期に於て外周縁と内周縁となるべき容量を略決定して壓延して次に轉子の溝の深さ並に勾配と内容量の關係に依り内周縁の部を外周縁の部より脱出通過率を小ならしめ壓延の最後の行程に於て傾斜せしめて壓延し以て製品の中央部に對し略均等なる壓縮力を以て壓延を爲すことを特徴とする捲回鋼杆の製造方法。

金代用合金の改良 (10年特許公告第4198號, 公告10-10-4, 大阪府, 安藤與七郎) 22金~純金に匹敵する色澤を有し特許第105714號合金に比し粘性更に大にして加工容易なる金代用合金を得る目的を以て $P0.1\sim0.25\%$ $Ni\ 1\sim5\%$ $Al\ 1\sim2\%$ $Cu\ 46\sim60\%$ 及殘部 Zn を含有せることを特徴とする金代用合金の改良。

特許拔萃

特許 番號	名 稱	特許權者	公告拔萃掲 載本誌番號
111631	安定なる膠質燃料製造法	財團法人理化學研究所	なし
111674	マグネシウム化合物を還元して電熱的に金屬マグネシウムを製造する方法	日本マグネシウム金屬株式會社	第21年9號
111701	燒戻硬化せしめたるコバルト青銅	化學研究所長	第21年5號
111702	タングステン鍍を含む鍍石の處理方法	化學研究所長	第21年5號
111703	Ni, Ti, Co 鋼製永久磁石の改良	金屬材料研究所長	第21年5號
111704	Ni, Ti, Co 鋼製永久磁石の改良	金屬材料研究所長	第21年5號
111705	Ni, Ti 鋼製永久磁石の改良	金屬材料研究所長	第21年5號
111706	Ni, Ti 鋼製永久磁石	金屬材料研究所長	第21年5號
111772	電氣開閉器接觸部材	三菱電機株式會社	なし
111777	有機的物質を乾燥する裝置	高田力藏	なし
111800	電氣混汞金裝置	青木光之助	第21年2號
111801	齒科鑄型用配合物	ヌフアクチュアリー ング、ムコパニー 株式會社神戸製鋼 所	なし
111809	凸板製版用亜鉛合金	なし	なし
111822	鉛板を多孔性及粗糲となす方法	田中謹治郎	なし
111828	電解作業に陰極として使用せる水銀の精製法	クヌート、ウイ ヘルム、パルメ ール	第21年5號
111861	Ni 含有高硅素鋼板	株式會社川崎造船 所	第21年4號
111957	強靱なる輕合金製造法	日本金屬工業株式 會社	第21年5號
112049	Al, Ni 及 Cr を含有する永久磁石	東京鋼材株式會社	第21年4號